

Point

平成19年7月25日に「フェリーたらまゆう」が就航しました。

## 運輸部

富古島～多良間島間に新船フェリー「フェリーたらまゆう」(運航者:合資会社多良間海運)が平成19年7月25日就航しました(運航計画変更(使用船舶の変更)平成19年7月19日付け認可)。

旧フェリーである「フェリーたらまゆう」は、昭和58年就航から24年が経過しており、老朽化に伴う修繕費の増加や、安全性の確保等が大きな問題となっていました。

「フェリーたらまゆう」は総トン数457トン、長さ65m、幅11.6mで、横揺れ防止用の「フィンスタビライザー※」を搭載しているため、波に強く安定性を持っており、從来の「フェリーたらまゆう」では2時間30分だった平良～多良間間を、2時間で巡航(航海速力17.2ノット)することができます。また、干潮及び満潮時にも関係なく貨物・

車両等の積み込み作業が迅速かつ安全にできるよう、油圧式可動甲板の設置や、トリム※調整のためのバフスタートンク※を備えました。船内においても、バリアフリーに対応し、手すりやスローラブの設置など、高齢者及び車いす利用者等にも優しく、安全で快適な乗り心地となっています。

当該船舶の就航により、海上輸送が一層充実し、利用者の利便性の向上や安定的な物資運搬はもとより、多良間村への観光振興など、地域の活性化が促進されると共に、多くの経済的効果が期待されています。

※フィンスタビライザー  
航海中の波の影響による船体の動搖を減少させる装置。

※トリム  
荷物を積んだ状態での船の前後の喫水のつり合い。

※バフスタートンク  
海水等を出し入れするタンク。



フェリーたらまゆう



パリアフリー対応の船内

